

# みなさん、自然災害への備えは万全ですか?

災害は突然やってきます。近年、これまでに私たちが経験してきたものをはるかに上回る 風水害による災害が多く発生しています。

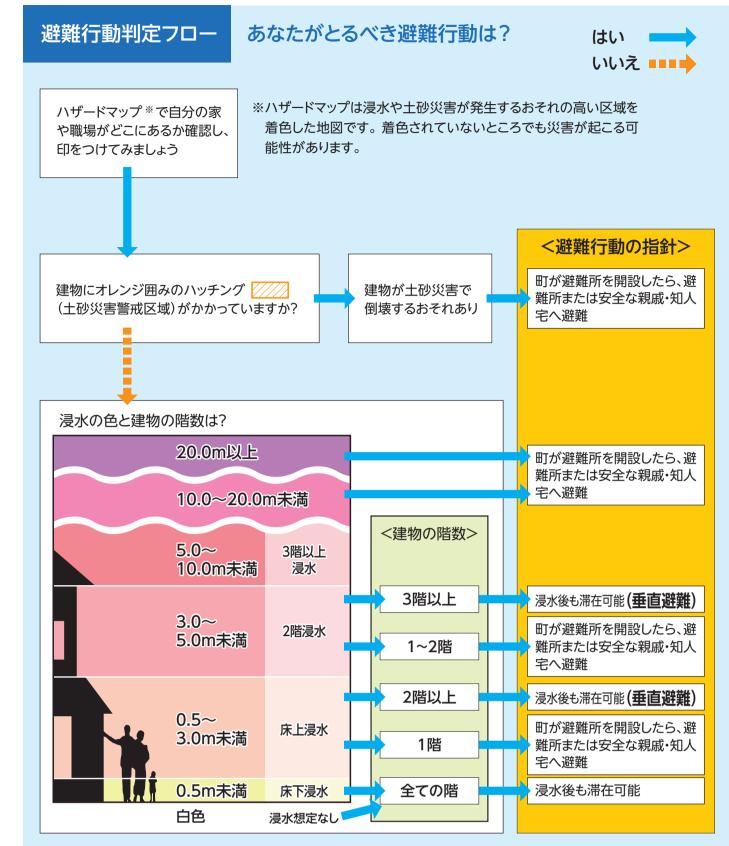
被害を最小限とするためには、みなさん一人ひとりのお住まいの場所における災害リスク や地形などをふまえ、日頃から自然災害について「学び」、災害毎の適切な避難行動を考え 「備える」ことが必要です。

もしもの災害に備え、ハザードマップを活用し、避難場所の確認や情報収集の方法、平時 の備えや災害時にとるべき行動など、日頃からご家族や地域の皆さんと話し合い、訓練を 行い確認しておきましょう。

# 豪雨時にとるべき避難行動

避難行動判定フローをチェックしましょう!

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、裏面の地図で自宅や職場の水害リスクととるべき行動を確認しましょう。 「避難行動判定フロー」をハザードマップとあわせて確認し、地域の災害リスクや住宅の条件等を考慮したうえで、 水害リスクが高まった場合にとるべき行動や適切な避難先を確認してください。



※浸水後も滞在可能な地域の方も万が一に備えて避難先を考えておきましょう。

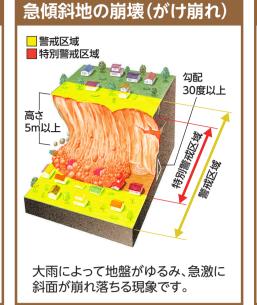
# 土砂災害を知ろう

土砂災害に備え、あなたの家の土砂災害リスクをチェックしましょう!

土砂災害の種類

土砂災害の種類には、「土石流、急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)、地すべり」があり、それぞれ特徴 が異なります。土砂災害は、大雨・長雨などに伴い突然発生する場合があります。裏面の地図



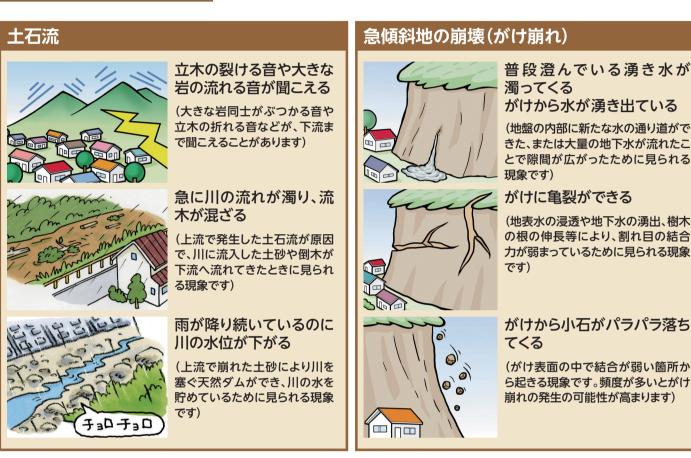




続的に斜面が滑り出す現象です。

土砂災害の前兆現象

土砂災害が起こる前には、多くの場合、何らかの前兆現象があります。下に挙げた ものは主な前兆現象です。こうした前兆現象に気づいたら、周囲の人にも知らせ、い ち早く安全な場所に避難することが大事です。



# 災害に備えて

非常持出品の備蓄、安全な避難経路を考えておきましょう! 自治会等の避難訓練に参加しましょう!

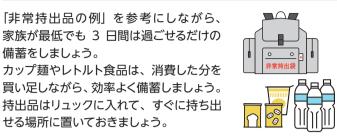
### 危険な場所を事前に確認しましょう

ハザードマップで自宅周辺にある 危険な場所の確認や、避難場所を 確認しましょう。また、避難場所 までの安全な避難経路は、状況に 応じて対応できるよう複数準備し ておきましょう。



## 食料・飲料水を備蓄しましょう

「非常持出品の例」を参考にしながら、 家族が最低でも 3 日間は過ごせるだけの 備蓄をしましょう。 カップ麺やレトルト食品は、消費した分を 買い足しながら、効率よく備蓄しましょう。



### 入ると重くなり、脱げやすくなるので避けましょう。 ヘルメットや 防災ずきん 長袖・長ズボン 軍手や革手袋 リュックサック 小さい子供には 名札

避難に適した服装を確認しましょう

動きやすく安全な服装を準備しておきましょう。長靴は中に水が

## 非常持出品を用意しましょう

非常持出品は避難時に持ち出す必要最小限のものを袋などに入れて、 玄関などのすぐに取り出せる所に保管しておきましょう

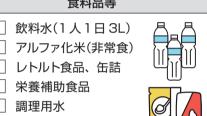
履きなれたクツ

### 非常持出品の例 チェックリスト

せる場所に置いておきましょう。



### **備蓄品の例 チェックリスト** 1週間程度の飲料水や食料などの備蓄品も準備しておきましょう。





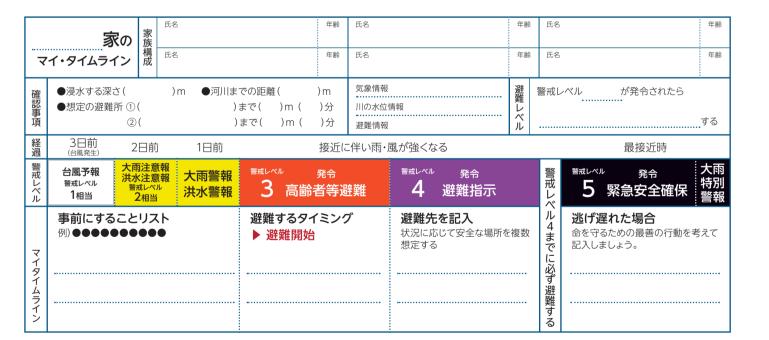
水タンク 生活用水 カセットコンロ ナイフ、缶切り

生活用品・衣類等

掃除用具 抗菌・消臭剤 毛布 衣類

災害時の行動計画を作成しておきましょう!また、家族や知人の安否確認方法を知っておきましょう!

マイ・タイムラインとは、水害時にとるべき避難行動をあらかじめ考えておく行動 予定表です。人数分をコピーして、家族みんなで話し合いながら作成しましょう。



## マイ・タイムラインのポイント

マイ・タイムラインを作成することで、気象情報や避難情報の意味、避難に必要な情報の入手方法、 河川の氾濫に関する知識などが習得できます。 風水害の発生は、ある程度予測することができます。

です。

マイ・タイムラインがあることで、被害の発生前に、あわてずに行動できるようになります。 家族で話し合いながらマイ・タイムラインシートを作成して、適切な避難行動がとれるようにしましょう。



「防災とボランティア週間(1月15日~1月21日)」に体験利用できます。

災害用伝言ダイヤル、災害用伝言板は、家族や知人の安否確認に活用でき ます。ご利用にあたっての事前契約等は一切不要です。

### NTT災害用伝言ダイヤル (171)

固定電話・IP電話・携帯電話・PHSから 伝言を録音・再生できます。録音時間は1 伝言あたり30秒です。

[171]をダイヤルして、「録音」または「再 生」の操作をしてください。

## (web171)

[URL] https://www.web171.jp/ 携帯電話・スマートフォン・インターネット から、伝言を文字入力・確認できます。文 字数は1伝言あたり100文字以下で、日 本語・英語・中国語・韓国語で入力可能

【使い方】 「web171」にアクセスして、「入力」また は「確認」の操作をしてください。

## NTT災害用伝言板

災害用伝言板 携帯電話各社(NTTドコモ、au、ソフトバ ンク、ワイモバイル)の携帯電話・PHSか ら伝言を「文字入力」できます。伝言の 「確認」はインターネットからも可能です。 【使い方】

携帯電話・スマートフォンの

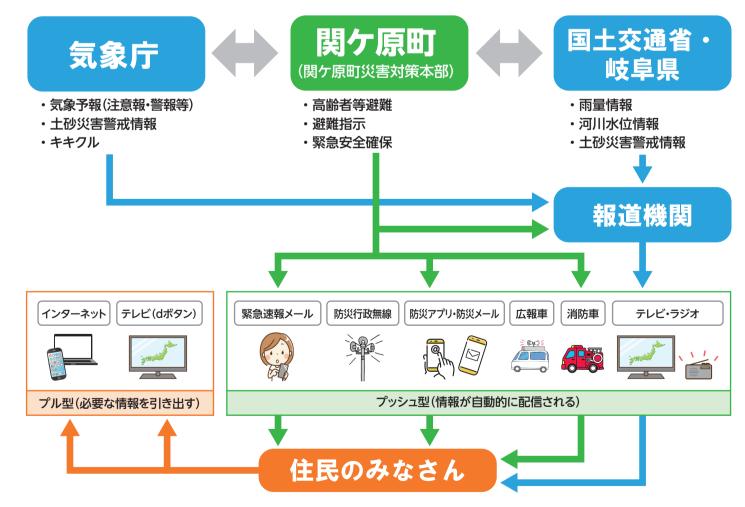
各携帯端末のトップ画面や専用アプリか ら「災害用伝言板」にアクセスし、操作を してください。

### ■災害用伝言ダイヤルと災害用伝言板(web171)は、それぞれで登録された伝言を音声で相互に確認できます。 ■災害用伝言ダイヤルと災害用伝言板(web171)は、「毎月1日、15日」「正月三が日(1月1日~1月3日)」「防災週間(8月30日~9月5日)」

防災気象情報の入手方法や避難指示等の伝達経路を理解しましょう!

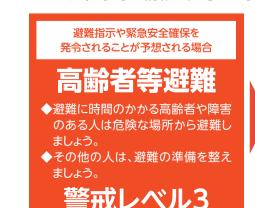
## 災害に関する情報の伝達手段・経路

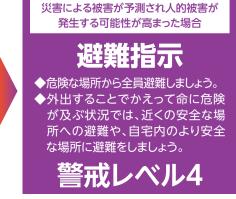
町では、災害発生の恐れがあるときや、災害の発生が確実なときには災害対策本部等を設置し、対応します。 また、災害の危険が高まり、避難が必要となる場合には、避難情報を発令します。

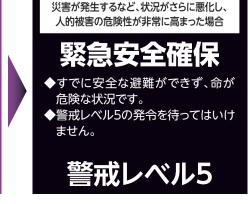


### 避難指示等の発令について

防災気象情報などを踏まえ町が発令します。 この避難指示等の情報を参考に、周囲の状況に応じて、早めの避難を心がけましょう。







災害時には、防災気象情報を活用しましょう!

# キキクルの活用と避難情報の確認

気象庁が提供している「キキクル」は、大雨による洪水や土砂災害発生の危険度の高まりを、地図上で5段階に色 分けして示す情報です。常時10分毎に更新しており、氾濫危険情報や土砂災害警戒情報等が発表されたときに、 どこで危険度が高まっているかを把握することができます。



- ※1 警戒レベル5 (緊急安全確保)は、町が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理 由から必ず発令される情報ではありません。
- ※2 警戒レベル4(避難指示)は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されます。 ※3 警戒レベル3(高齢者等避難)は、高齢者以外の人も、避難の準備をしたり、危険を感じたら
- 自主的に避難を開始するタイミングです。 ※4 キキクルで表示される色は、避難にかかる時間を考慮して、2時間先までの予測値を用いて 危険度を表示しています。

## 関ケ原町 防災行政無線 放送内容配信アプリ

### QRコードを読み取り、お使いのスマートフォンに アプリをダウンロードして下さい。

※ダウンロード&ご利用は無料ですが、通信料は別途かかります。 使 用 環 境 に つ い て

iOS ··· 10.0 以上 Andoroid OS ··· 6.0 以上 本アプリのダウンロード、閲覧は無料です(通信料金は別途かかります)。使用にはWi-Fi 若しくは電話 回線を利用したインターネットへの接続が必要です。本アプリ実行中に不定期に自動的にインターネット へ接続し、最新情報をサーバーから取得する場合があります。そのため、ご利用中の回線の種別によって は通信料金がかかる場合があります。



Google PlayおよびGoogle Playロゴ、Androidは

Google LLCの商標です。

災害直後は、地域の方々との助け合いが何より重要となります

## 正確な情報収集と早めの行動

●テレビ・インターネットなど で最新の気象情報や災害情報

を確認しましょう。 ●雨の降り方や浸水の状況に注 意して、危険を感じたら早め に行動することを心がけま しょう。

# 2 避難する時の服装と持ち物

●動きやすい服装で丈夫な靴を はき、徒歩で避難しましょう。 ●長靴やサンダルは脱げる危険 があるのでやめましょう。



## 単独行動は避けましょう

●家族や近所の方たちと一緒に 行動しましょう。

●お年寄りや身体の不自由な方 などの避難は、みんなで協力 し合いましょう。



## 4 車での避難はやめましょう ●一般の車は約 30cm 浸水し

てしまうと動けなくなる危険 があります。 ●渋滞が発生して緊急車両の通 行の妨げになる可能性があり

ます。



### 浸水への備え、自衛策

### 自宅周辺の点検・整備

●雨水ますなどに泥や落ち葉、ゴミが詰まると浸水の原因にな ります。

●梅雨や大風期の前には、自宅周辺の雨水ますなどが詰まって いないか確認しましょう。 ●風で飛ばされる危険がある物は、事前に撤去しておきましょう。 ●台風や局地的な豪雨に備えて、日頃から点検や清掃を心掛け

ましょう。





### 家庭でできる浸水対策

●水が入り込みそうな所に土のう を設置する。(土のうはホーム

センター等で購入できます。) ●浸水が浅い場合は、家庭にあ るものを使って、水の侵入を 軽減させることができます。





大きめのポリ袋で作った水の テーブルやボードなどの長め うをダンボール箱に詰めてレ の板状のものと土のうを使っ ジャーシートなどで包み、水 て止水板を作ります。 の侵入口に隙間ができない ように並べます。

